

4. 調査、予測及び評価の項目

4.1 項目の選定

立野ダム建設事業における調査、予測及び評価の項目を表 4.1-1に示します。

表 4.1-1 立野ダム建設事業における調査、予測及び評価の項目

環境要素の区分 影響要因の区分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用				
				ダムの堤体の工事 (試験湛水含む)	施工設備及び工事用道路の設置の工事	建設発生土の処理の工事	ダムの堤体の存在	建設発生土処理場の跡地の存在	道路の存在	ダムの供用及びダム洪水調節地の存在	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	粉じん等		○						
			騒音	騒音		○					
			振動	振動		○					
	水環境	水質		土砂による水の濁り		○					○
				水温		○					
				富栄養化		○					
				溶存酸素量		○					
			水素イオン濃度		○						
		土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質						○	
	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物		重要な種及び注目すべき生息地		○				○	
植物			重要な種及び重要な群落		○				○		
生態系			地域を特徴づける生態系		○				○		
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観						○		
	人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場		○				○		
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等		建設工事に伴う副産物		○						

注) ○：ダム事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令（平成10年6月12日厚生省・農林水産省・通商産業省・建設省令第1号）の参考項目及び立野ダム建設事業の内容を勘案して、調査、予測及び評価を行う項目を示します。

4.2 項目の選定理由

立野ダム建設事業における調査、予測及び評価の項目として、選定する理由を表4.2-1に示します。

表 4.2-1(1) 調査、予測及び評価の項目の選定理由(1/2)

項目		選定する理由	
環境要素の区分	影響要因の区分		
大気環境	大気質	工事の実施	ダム堤体の工事等による建設機械の稼働に伴う粉じん等により生活環境が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価の項目として粉じん等を選定します。
	騒音	工事の実施	ダム堤体の工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の運行に伴う騒音により人の健康と生活環境が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価の項目として騒音を選定します。
	振動	工事の実施	ダム堤体の工事等による建設機械の稼働及び工事用車両の運行に伴う振動により人の健康と生活環境が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価の項目として振動を選定します。
水環境	水質	工事の実施	ダム堤体の工事等による濁水の発生や、生活環境や水利用が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価の項目として土砂による水の濁り、水素イオン濃度の2項目を選定します。
		試験湛水時	試験湛水による濁水の長期化、水温変化および富栄養化等、洪水調節地内や下流河川の水質に影響を及ぼすことが想定されるため、環境影響評価の項目として土砂による水の濁り、水温、溶存酸素、及び富栄養化の4項目を選定します。
		土地又は工作物の存在及び供用	ダムの供用及びダム洪水調節地の存在により、出水時における濁水の懸念があるため、環境影響評価の項目として土砂による水の濁りを選定します。
土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	土地又は工作物の存在及び供用	ダム堤体の存在等により、重要な地形及び地質が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価の項目として重要な地形及び地質を選定します。
動物		工事の実施	ダム堤体の工事等により、重要な種及び注目すべき生息地が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として重要な種及び注目すべき生息地を選定します。
		土地又は工作物の存在及び供用	ダム堤体の存在等により、重要な種及び注目すべき生息地が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として重要な種及び注目すべき生息地を選定します。
植物		工事の実施	ダム堤体の工事等により、重要な種及び群落に影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として重要な種及び群落を選定します。
		土地又は工作物の存在及び供用	ダム堤体の存在等により、重要な種及び群落に影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として重要な種及び群落を選定します。

表 4.2-1(2) 調査、予測及び評価の項目の選定理由(2/2)

項 目		選 定 す る 理 由
環境要素 の 区 分	影響要因 の 区 分	
生態系	工事の実施	ダム堤体の工事等により、地域を特徴づける生態系が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として地域を特徴づける生態系を選定します。
	土地又は工作物の存在及び供用	ダム堤体の存在等により、地域を特徴づける生態系が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として地域を特徴づける生態系を選定します。
景 観	土地又は工作物の存在及び供用	ダム堤体の存在等により、主要眺望地点から景観資源を眺望する景観が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観を選定します。
人と自然との 触れ合いの 活動の場	工事の実施	ダム堤体の工事等により、人と自然との触れ合いの活動の場が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として主要な人と自然との触れ合いの活動の場を選定します。
	土地又は工作物の存在及び供用	ダム堤体の存在等により、人と自然との触れ合いの活動の場が影響を受けるおそれがあるため、環境影響評価項目として主要な人と自然との触れ合いの活動の場を選定します。
廃棄物等	工事の実施	ダム堤体の工事等により、建設発生土等の建設工事に伴う副産物が発生するため、環境影響評価項目として建設工事に伴う副産物を選定します。